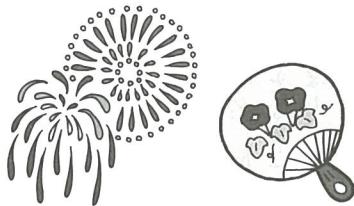


日本俳優協会会報

第71号



平成22年7月1日発行

●編集発行人 社団法人 日本俳優協会 事務局

〒104-0045 東京都中央区築地2-8-1

築地永谷タウンプラザ504

TEL.(03)3543-0941 FAX.(03)3546-8629

平成二十二年度 第五十二回 通常総会を開催

松竹株よりご寄付

歌舞伎座閉場式の興行収益より

本協会の通常総会が、去る五月三十一日(月)、東劇ビル十階大会議室で開催されました。議長選出の後、出席人数を確認したところ、会員現在数(三六六名)の三分の一以上の出席があつたので総会は成立。中村芝翫会長が議長席に着き、開会の宣言の後、左記議題を審議しました。

■議案

第一号議案 平成二十一年度事業報告と

決算案承認の件

第二号議案 平成二十二年度事業計画と

予算案承認の件

第一号議案については、平成二十一年度事業報告書および決算書(案)をもとに、市川團十郎財務理事から報告があり、浅原事務局長から詳しい説明がされました。これに続き、坂東彥三郎監事より会計監査の報告がされ、満場一致で可決承認されました。

第二号議案についても、平成二十二年度事業計画書および予算(案)をもとに、市川團十郎財務理事から報告があり、次いで浅原事務局長から詳しい説明がありました。この議案につきましても、満場一致で可決承認されました。

総会の終了後二週間以内に、文化庁への届出を終了しましたことをご報告申し上げます。

去る四月三十日、歌舞伎座の改築を控えた「さよなら歌舞伎座公演」のファイナーレとして「閉場式」が賑々しく開催されました。昼夜二回の公演は、歌舞伎座に別れを惜しむお客様や関係者で満員の大盛況でした。歌舞伎俳優が捕つた手打ち式を最後に歌舞伎座が幕を閉じました。この日の前日には、幕内関係者出席による「修祓式」が行われ、歌舞伎座の建物そのものと、そこにかつて活躍した方々の慰靈祭が開催され、献花をもつて慰靈しました。

松竹株では、この「閉場式」の興行収入を折半し、本協会にご寄付下さいました。
松竹株及び関係各方面に心から御礼申し上げます。

〔社〕伝統歌舞伎保存会の事務引き継ぎについて

本年六月四日をもつて、伝統歌舞伎保存会の倉重事務局長が退職されました。そのため、国立劇場にある伝統歌舞伎保存会の事務所に常駐の職員がいなくなります。今年は、例年夏に開催している「小学生のための歌舞伎体験教室」がお休みのため、大きな事業の予定はありません。当面の間の仕事は、本協会の浅原事務局長と事務局で引き継ぎます。

なお、電話、メールのアドレスは、日本俳優協会に転送されますので変更はありません。保存会会員の皆さまにはご不便をおかけしますが、何卒ご理解の程をお願い申し上げます。

第十六回 日本俳優協会賞 決定！

四月の歌舞伎座で授与式を挙行

本協会の顕彰事業である日本俳優協会賞の第十六回目の表彰者を決める選考委員会が去る三月三十一日、歌舞伎座貴賓室にて開かれました。その結果、今回は日本俳優協会賞二名、同奨励賞三名、同功労賞一名、同特別賞（歌舞伎座改築前の最後の表彰となることから選出）一名の計七名が推挙されました。

ある。中村勘三郎一門の中につけて、これからもますます貴重な存在となるであろうことが評価され、日本俳優協会賞に相応しいとされた。

尾上 徳松氏

（受賞理由）

歌舞伎座が改築のため四月で閉場することから、何とか四月の舞台で授与式を執り行いたい意向で調整の結果、松竹株式会社歌舞伎座の多大なるご協力を得て、四月二十七日の歌舞伎座公演昼の部の幕間に無事、授与式を行うことができました。

当時は、中村芝翫会長が体調を崩されたため、坂田藤十郎副会長と松竹株安孫子専務取締役ご列席のもと、鈴木治彦氏の司会進行で受賞者七名全員が揃つての表彰式となりました。受賞者と受賞理由は次の通りです。皆さま、おめでとうございます。

■日本俳優協会賞

中村 山左衛門氏



（受賞理由）

平成二十一年一月浅草公会堂『一本刀土俵入』

船戸の弥八、八月歌舞伎座『天保遊侠録』榎本才助、九月名古屋平成中村座『幡隨長兵衛』坂田公平など、よきわき役となってきた。いい意味での個性を持つており、自分の芸を作りつつ

鳴原 桂さん

（受賞理由）



松本 錦一氏



（受賞理由）

並びの役などの小さな役が多いが、どんな役でも丁寧に勤め、師匠・松本幸四郎の後見やお幕、呼び等も評価されている。平成二十一年三月歌舞伎座の『元禄忠臣蔵』矢頭右衛門七などでも行儀の良さを示し、今後の歌舞伎界のためにも、奨励賞に相応しいとされた。

■日本俳優協会賞奨励賞

片岡 千次郎氏



（受賞理由）

上方歌舞伎塾を卒業後、片岡我當一門に入門して十年の間、日々修業に励んでいる姿が、平成二十一年八月永楽館歌舞伎『車引』杉王丸、八月上方歌舞伎会『京人形』京人形の精などに現れ、着実に進歩している点が奨励賞に相応しい。

■日本俳優協会賞功労賞

中村 仲太郎氏



（受賞理由）

永年にわたり、頭取としての並大抵のものではない苦労を重ねてきた。また、効果音（笛、赤子の啼き声、虫の音など）たいへん優れた技能を持っており、舞台に現れないすべての面で功労している点が、功労賞に相応しい。

■日本俳優協会賞特別賞

中村 吉之丞氏



（受賞理由）

永年にわたる功績に関しては皆の知るところ

平成二十一年一月三越劇場新派公演の『太夫さん』喜美太夫、六月～七月『女の一生』堤総子の演技などなどで個性を示し、将来性を見せた。また、一昨年勤めた『紙屋治兵衛』おさん（のしつとりとした風情なども再評価された。各役に対しても努力の成果が現れてきたことが、奨励賞に相応しい。

である。平成二十一年に限っても四月歌舞伎座「毛谷村」後室お幸 六月歌舞伎座「双蝶々曲輪日記 角力場」仲居おたけ、十二月国立劇場「頬朝の死」侍女音羽など、老女、後室、仲居などのすべてに大ベテランの味で主役を引き立てていて。歌舞伎座最後の表彰に際しての功劳賞にまさしく相応しい。



舞台での授与式終了後に、歌舞伎座樂屋坂田藤十郎副会長のお部屋で記念撮影を行いました。写真前列左より、松竹株安孫子専務取締役、坂田藤十郎副会長、中村吉之丞氏。後列左より、片岡千次郎氏、鳴原桂さん、松本錦一氏、尾上徳松氏、中村山左衛門氏、中村伸太郎氏。

歌舞伎座改築設計(案)の説明・意見交換会を開催

五月三十一日の本協会の総会に引き続き、松竹株の歌舞伎座開発推進室が中心となつて、本協会会員に対して、新・歌舞伎座の樂屋設計に関する説明会と意見交換会が持たれました。松竹株は、この説明会で本協会会員の皆さまに建物の構造とレイアウトに関してご理解が得られれば、夏にも正式な建築申請を行いたい意向です。

説明会当日は、実際に設計にあたつている三菱地所設計のご担当者から、設計図や模型を使っての丁寧な説明がありました。

昨年より、本協会の歌舞伎座改築対策プロジェクトが中心となつて、会員の皆さまのご意見やご要望を伺い、何度もわたくつて松竹株に伝えてきました。また、実際に歌舞伎の興行が行われている樂屋を見てもらおうと、皆さまの協力を得て設計士の方々を樂屋に案内したことも度々ありました。この度、本協会からの要望をおおむね反映した形の設計案が提示されました。

今回も、本協会会員からの活発な質問と意見交換がなされ、会合は一時間半を越える長時間となりました。各樂屋の内装などの細部については、今後も引き続き、意見交換を行っていく予定です。皆さまのご協力をお願いいたします。

月島倉庫の使用について

本協会と松竹株では、歌舞伎座改築中の三年間の荷物置き場と地方公演の荷出し・荷下ろしの場所について協議を重ねてきました。その結果、松竹が勝どきに「月島倉庫」を借り、その一部を本協会と影音協が借り受け、これまで会員が歌舞伎座の樂屋に置いていた荷物を保管することになりました。そこで、本協会の借用スペースについては、四月中に、三畳から四畳程度のブースを二十部屋ほど作り、一門単位で借りてもらうことになりました。ただし、従来から個人的に倉庫を借りている会員もいるので、希望者を募り、申込みのあつた一門や名題部屋や名題下部屋の備品をこの倉庫に保管することになりました。これらの荷物は、歌舞伎座の閉場した四月末に歌舞伎座から倉庫に搬入しました。また、地方公演の荷出しと荷下ろしについても、五月二十九日から三十日にかけて、御園座からの荷下ろし、大阪松竹座からの荷下ろし、中日劇場への荷出し、ロンドン公演の荷出しを行いました。

今後も、約三年間、地方公演への荷出しや荷下ろしは、この勝どきの倉庫が基点となります。これまでの歌舞伎座と違い限られたスペースを利用するので、いつまでも荷物を放置しておくわけにはいきません。荷出し、荷下ろしの節は、必ず各劇場の頭取さんの指示に従い、倉庫についた荷物は各自で出来るだけ早急に撤去、移動するようお願いいたします。

ニュース ニュース

四月歌舞伎座から出勤。

★国立劇場賞

平成二十一年六月

(優秀賞) 市川猿弥氏 「華果西遊記」 猪八戒の演技に対し

平成二十一年七月

(優秀賞) 中村亀鶴氏 「矢の根」 曽我十郎祐成の演技「歌舞伎のみかた」の解説に対し

平成二十一年十月

(優秀賞) 中村翫雀氏 「京乱暉鉤爪」 鶴丸実次の演技に対し (優秀賞) 市川高麗藏氏 「同」 女隠密綾乃の演技に対し (特別賞) 中村梅丸

氏 「同」 花がたみの演技に対し (特別賞) 松本錦成氏 「同」 きはものや丁稚長吉の演技に 対して

平成二十一年十一月

(優秀賞) 片岡市蔵氏 「外郎壳」 茶道珍斎 「大津絵道成寺」 外方の演技に対し (優秀賞) 中

村亀鶴氏 「傾城反魂香」 土佐修理之助 「大津絵道成寺」 弁慶の演技に対して

平成二十一年十二月

(優秀賞) 中村歌昇氏 「頼朝の死」 畠山重保の演技に対して (優秀賞) 中村錦之助氏 「修禪寺物語」 源左金吾頼家の演技に対して (奨励賞)

中村吉之助氏 「頼朝の死」 中野五郎能成の演技に対して (特別賞) 渡邊愛子さん 「一休禪師」 翁の演技に対して

平成二十一年一月

(優秀賞) 尾上菊之助氏 「旭輝黄金鏡」 小田家臣鳴海春吉の演技に対して (奨励賞) 中村梅枝氏 「同」 足利国姫の演技に対して (特別賞)

尾上右近氏 「同」 戻太夫娘おみつの演技に対し (優秀賞) 尾上菊之助氏 「旭輝黄金鏡」 小田家臣鳴海春吉の演技に対して (奨励賞) 中村梅枝氏 「同」 足利国姫の演技に対して (特別賞)

尾上右近氏 「同」 戻太夫娘おみつの演技に対し (優秀賞) 尾上菊之助氏 「旭輝黄金鏡」 小田家臣鳴海春吉の演技に対して (奨励賞) 中村梅枝氏 「同」 足利国姫の演技に対して (特別賞)

して (特別賞) 市川男寅氏 「同」 下女おふくの演技に対して

平成二十一年三月

(優秀賞) 坂東亀三郎氏 「金門五三桐」 奴八田平実ハ順喜觀実ハ加藤清正の演技に対し

(奨励賞) 中村芝喜松氏 「同」 大炊之助妻具竹の演技に対して

歌舞伎 on the web 事務局

からのお知らせ

今年一月一日に正式オープンした歌舞伎公式ホームページ「歌舞伎 on the web (<http://www.kabukine.jp/>)」は、月平均で約三万人の方にトッピングページにアクセスしているなど、

順調に運営されています。このたび、昨年七月のプレオープンから数えて一周年を迎えることができました。これもご協力いただいた皆様のおかげによるものと、厚く御礼を申し上げます。今後もトピックスの充実のため、会員の皆様の公演情報や求人情報などを掲載してまいりますので、

情報がございましたら事務局までお寄せ下さい。事務局では、現在「歌舞伎公演データベース」戦後から現代まで」のさらなる内容の充実と信頼性の向上を図るために、現在収録されている昭和二〇年から平成十八年までの上演データの見直しと修正、未収録となつていてる平成十九年以降のデータの整備、巡業や勉強会などのデータの準備といった作業を順次行っています。

これらが公開できる時期は未定ですが、なるべく早期の公開をめざして進めていきます。

消
息
欄

◆転居・移転

プロダクション さかがみ企画	〒151-0065 渋谷区大山町12-4	横山光一
◆不変		
後援会 若鶴会	〒104-0061 中央区銀座6-17	関西
2 ビルネット館	2-401	横山光一
義太夫協会	〒104-0045 中央区築地1-12-16	平成22年7月、片岡愛之助に入門。片岡愛一郎を名乗る。
松竹会館別館	3F	
日本喜劇人協会	〒111-0035 台東区西浅草2-1	
7-8 マチタビル	1F	
(株)歌舞伎座	〒104-0061 中央区銀座7-15-5	
共同ビル	5F	
歌舞伎座サービス(株)	〒104-0032 中央区八丁堀2-5-1	
東宝舞台株式会社	〒139-0025 さいたま市岩槻区4-1-1172	
釣上新田	1048-1	
演劇ぶっく社	〒164-0012 中野区本町2-28-11	
◆不変		
03(5358)5212		

欄

◆入門・改名(敬称略)

歌舞伎 小島 誠 平成22年5月、市川團十郎

に入門。市川升六を名乗る。

生6名。平成22年4月1日付入会。(敬称略)

歌舞伎 市川新次(本名・柏田浩基) 市川團十郎

歌舞伎 関西 市川新次(本名・柏田浩基) 市川團十郎

歌舞伎 中村春希(本名・新井希望) 中村魁春

歌舞伎 中村獅二郎(本名・重石太志) 中村獅

歌舞伎 童門弟 中村橋成(本名・小竹優希) 中村橋之

歌舞伎 助門弟 坂東彌綱(本名・佐藤弘姿郎) 坂東彌

歌舞伎 坂東三久太郎(本名・神戸優作) 坂東彌

歌舞伎 十郎門弟 坂東彌綱(本名・佐藤弘姿郎) 坂東彌

歌舞伎 坂東彌綱(本名・佐藤弘姿郎) 坂東彌

◆退会(敬称略)

歌舞伎 市川猿治郎 平成22年1月末日付

第三部 青山良彦 平成22年3月末日付
 第三部 井上十美子 平成22年4月6日付
 第三部 山田五十鈴 平成22年3月末日付
 ◆番頭・マネージャー・付人新任(敬称略)

◆松竹株歌舞伎座事務所人事異動
 支配人・山本徹氏(株歌舞伎座取締役)
 締役舞踊外商部門担当に大西美代治氏が昇任。

副支配人・船越直人氏(新橋演舞場副支配人)
 副支配人・田野暦子氏(チケット事業室長)
 販売課長・萬石孝之氏(新橋演舞場販売課長)
 販売・千田学氏(本社・国内公演室宣伝課長・佐藤一生氏(本社国内公演室監事室・住井浩平氏(本社歌舞伎製作室監事室・金澤浩平氏(開発企画事業部企画室照明・池田智哉氏(本社芸文室宣伝・貞綱仁氏(開発企画事業部企画室)◆松竹株演劇部人事異動
 松竹株常務取締役・白井信彦氏(退任)
 松竹株取締役・荒牧大四郎氏(南座総支配人兼務執行役員・山本徹氏(退任)
 執行役員・飯島義裕氏(南座支配人兼務新橋演舞場支配人・西村幸記氏(松竹株執行役員兼演劇興行部長
 関西演劇部演劇製作室長・牧原広幸氏(大阪松竹座支配人
 大阪松竹座支配人・笠川聖一氏(関西演劇部演劇製作室長)
 本社歌舞伎製作室・小嶋浩太郎氏(大阪松竹座副支配人
 大阪松竹座副支配人・藤田孝氏(新橋演舞場營業課長)
 南座支配人・吉浦高志氏(関西演劇部ゼネラルマネージャー
 関西演劇部次長・森畑圭司氏(南座副支配人
 関西演劇興行課宣伝統括マネージャー・小田昌子氏(大阪松竹座副支配人
 ◆松竹衣裳株役員異動
 専務取締役営業本部長に海老沢誠一氏、常務取締役舞踊外商部門担当に大西美代治氏が昇任。

◆(独)日本芸術文化振興会役員人事異動
 理事・織田紘二氏、水野豊氏、監事・井上正晴氏退任。後任に石塚禎一氏(営業部・舞台技術部・調査養成部・国立劇場演芸場部・国立劇場能楽堂部担当理事)、小見夏生氏(国立文楽劇場部・基金部担当理事)、島村和男氏(監事)が就任。織田紘二氏は顧問に就任。
 ◆(株)歌舞伎チャンネル
 代表取締役社長に岡崎哲也氏が就任。
 ◆会員訃報
 市村吉五郎様(平成22年2月17日、就下性肺炎のためご逝去。92歳。葬儀・告別式は2月23日、町屋斎場にて。喪主は長男・市村家橘氏。中村千彌様(平成22年3月28日、誤嚥性肺炎のためご逝去。79歳。葬儀・告別式は3月30日、幡ヶ谷斎場にて。喪主は容代夫人。◆関係者訃報
 小川シゲ様(本名・五十嵐宗之助)尾上菊五郎劇団鳴物。平成21年12月3日ご逝去。
 和田秀夫様(演劇評論家)平成22年1月12日ご逝去。83歳。
 常磐津須磨太夫様(本名・上杉一郎)常磐津演奏家。平成22年3月1日ご逝去。
 昇氏(母堂)平成22年3月5日肺不全のためご逝去。83歳。
 仁科淑子様(岩井半四郎夫人)平成22年3月17日、肺癌のためご逝去。89歳。
 井上ひさし様(脚本家)平成22年4月9日ご逝去。75歳。